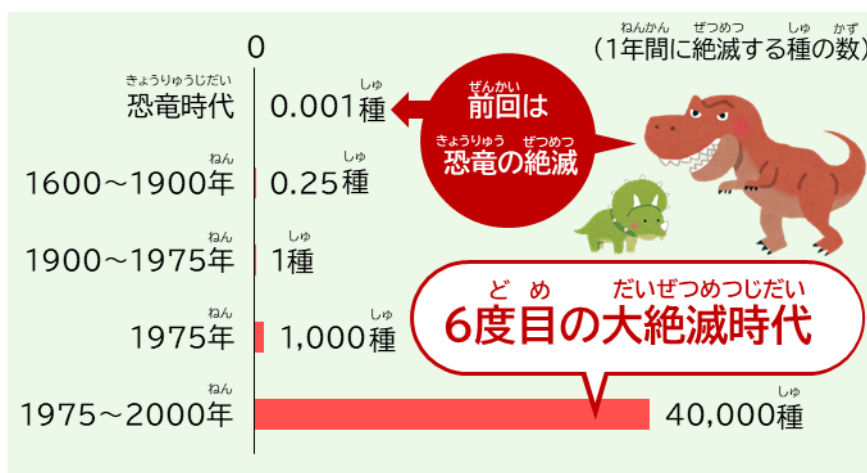


## 2 今、生物多様性が危ない！

### 6度目の大絶滅時代がやってきた！？

今、地球上において1年間に約4万種もの生きものが絶滅しつつあり、6度目の大絶滅時代といわれています。まさに、**生物多様性の危機**といえます。



ノーマン・ワイヤー著「沈みゆく箱船」(1981)を基に作成

### 原因は…人間の活動

生物多様性が失われている原因のほとんどが、わたしたち**人間の活動**によるものです。

#### 開発や乱獲による危機

人が増えたことから、森林を宅地に変えたり、海を埋め立てたりしたことで、生きものが暮らす場所が減りました。また、食料として獲る生きものの量が増えました。



#### 里地里山などの手入れ不足による質の低下による危機

農村の過疎化や高齢化によって、人の手による手入れがされなくなった里地里山が増え、多くの生きものが住めなくなっています。



#### 外来生物や化学物質の影響による危機

人の都合で持ち込まれた生きものにより、生態系が壊されています。また、人が作り出した農薬などの化学物質が生きものに悪い影響を与えています。



#### 地球温暖化など地球環境の変化による危機

人の活動による地球温暖化や降水量の変化などの急激な気候の変化により、多くの生きものが絶滅の危機にさらされています。



#### 豆知識【生物多様性国家戦略】

生物多様性条約及び生物多様性基本法に基づく、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画。2023(令和5)年に第六次戦略が策定された。



# 生物多様性が失われるとどうなる？

一つの生きものが絶滅してしまうと、生きもののつながりのバランスが崩れ、自然の恵みも少なくなります。

## ■ 船橋市の生物多様性の現状と課題

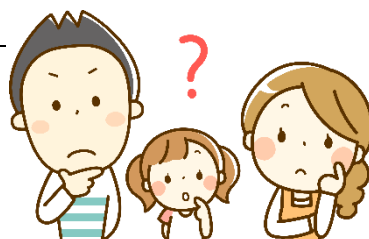
平成11年から13年（1999年から2001年）に行った自然環境調査の結果と平成25年から26年（2013年から2014年）に行った調査結果を比較したところ、平成11年の調査で見つかった生きものが、平成25年の調査では見つからなかった地域がありました。

考えられる原因	確認されなかった地域がある動植物
宅地化等による生育地・生息地の減少	キンラン、ジュウニヒトエ、フナバラソウ、ノジトラノオ、カヤネズミ、カイツブリ、パン、アズマヒキガエル等
耕作していない水田の増加や耕作していないことによる環境の変化	ミズニラ、コウホネ、サジモダカ、アギナシ、ヒキヨモギ、チュウサギ等
草刈などによる除草	コバノタツナミ、イヌノフグリ等
除草剤の使用	ミズニラ、コウホネ、サジモダカ、アギナシ等

船橋市では、都市化により様々な自然環境が少なくなり、生きものが生きられる場所が少なくなっています。



かんがえてみよう

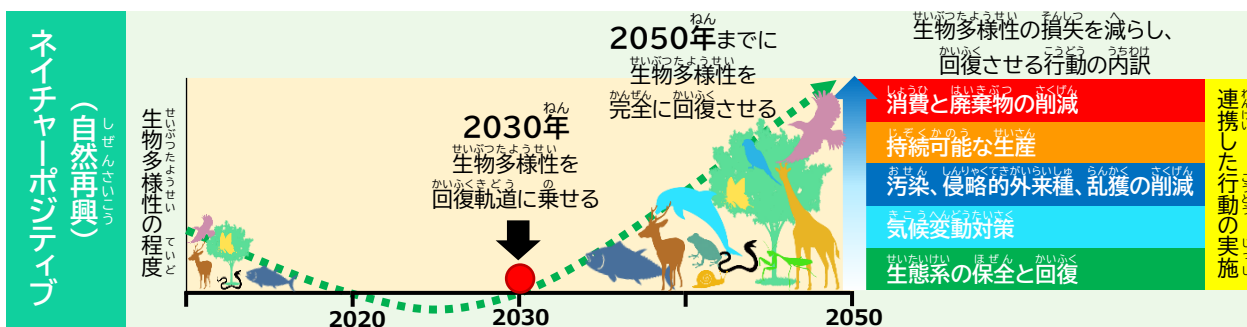


船橋市の生物多様性を守るために、私たちにできることはなんだろう？

自然の恵みがなくなってしまうたら、私たちのくらしはどうなるかな？

## 生物多様性を回復させよう

私たちの行動が変わらずこのまいくと、生物多様性の傾向はさらに劣化し続けると予想されています。ですが、生態系の保全と回復に努める、気候変動対策に取り組むなど様々な行動を実施することで、生物多様性の傾向が増加につながる可能性があります。それぞれの取り組みは、個別に取り組むのではなく、他の分野と連携しながら取り組むことが必要とされています。2030年までにネイチャーポジティブを実現することが、現在の国際目標として掲げられています。



A Global Goal for Nature - Nature Positive by 2030(<https://www.naturepositive.org/>)及び環境省資料「ネイチャーポジティブ経済の実現に向けて」(<https://www.env.go.jp/content/000116996.pdf>)を参考作成

## ワードクイズ その2

船橋市の自然と生きものは、○●○から低地、海へと続く水循環に支えられている。(ヒント:15ページ)